

2026 年 3 月 16 日

各位

会 社 名 株 式 会 社 F u s i c
代 表 者 名 代表取締役社長 納 富 貞 嘉
(コード番号：5256 東証グロース・福証 Q-Board)

Fusic、Singapore Takada Industries 社の社内デジタル化プロジェクトを受注
～ASEAN 地域における海外事業の着実な進展～

株式会社 Fusic（本社：福岡県福岡市中央区、代表取締役社長：納富貞嘉）は、Singapore Takada Industries Pte. Ltd.（以下、STK 社）より、社内デジタル化プロジェクトを受注しましたのでお知らせいたします。



STK 社について

STK 社は、1971 年にシンガポールで設立された、石油・ガス、石油化学・化学プラント、製薬プラント、発電所、半導体工場などを対象とするエンジニアリング設計・建設・メンテナンスのスペシャリスト企業です。50 年以上にわたりシンガポールおよびアジア各地でプロジェクトを手がけ、その品質・安全・工期遵守の実績から、地域の産業インフラを支える存在として高い信頼を築いています。

STK 社は、東証スタンダード市場に上場する株式会社高田工業所（本社：福岡県北九州市）のグループ会社です。高田工業所グループは、第 5 次中期経営計画（2022～2026 年度）において ICT 推進による生産性向上・競争力強化を重点施策のひとつに掲げており、グループ全体で DX や先進技術の活用に積極的に取り組んでいます。

プロジェクトの概要

今回当社が受注したのは、STK 社の業務プロセスをデジタル技術によって刷新する社内デジタル化プロジェクトです。クラウドや生成 AI などを活用した当社の技術支援により、業務効率化と競争力強化を段階的に実現していきます。また、将来的には STK 社内への AI・生成 AI 導入も視野に入れ、テクノロジーを通じた同社の持続的な成長を支援していきます。

なお、プロジェクトは複数のフェーズに分けて順次ローンチする予定です。

今後の展望

Fusic は今後も、国内にとどまらず、ASEAN・APAC 地域を中心とした海外市場においても、生成 AI やクラウドなどの技術、また事業開発力を通じて、企業の DX 推進・新規事業開発・R&D 支援に貢献してまいります。

今回の STK 社との取り組みは、Fusic が海外に向けてその知見と実績を広げていく上で重要な一歩として位置づけています。本件を通じて蓄積されるプロジェクト実績や現地ネットワークを基盤に、ASEAN 地域におけるさらなる案件創出へと展開し、海外市場における中長期的な収益基盤の強化を図ってまいります。

なお、本件による当社の 2026 年 6 月期の業績に与える影響は軽微と見込んでおりますが、今後開示すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

（ご参考）当社の海外事業に関する主な取り組み

Fusic、ASEAN 地域で海外プロジェクトを複数受注～シンガポールを起点に、R&D/新規事業立ち上げ支援と DX 支援で次の価値創出へ～

<https://fusic.co.jp/ir/news>

以上

本リリースに関するお問合せ先

株式会社 Fusic IR 担当

〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神 4-1-7 第 3 明星ビル 6F

お問い合わせ：<https://fusic.co.jp/ir/other/contact>